

モーズ
Mohs 顕微鏡手術
(Mohs micrographic surgery) MEMO

ーモスコピーが有用であることが多い (3章参照). 表在型は乾癬やBowen病と、斑状強皮症型はモルフェア、円板状エリテマトーデス、環状肉芽腫、ケロイドとの鑑別を要する。

治療

3～10mmの健常部皮膚を付けて外科的切除するのが基本。顔面に好発するので、局所皮弁や植皮を伴うことが多い。放射線療法、外用化学療法、凍結療法、光線力学的療法などが選択されることもある。海外ではSMO阻害薬(ビスモデジブ、ソニデジブ)も用いられている。

予後

基本的に転移しないため生命予後は良好。しかし、治療しない限り正常組織を破壊しつつ増殖する。

2. 有棘細胞癌 *squamous cell carcinoma ; SCC* ★

同義語：扁平上皮癌

Essence

- 角化細胞の悪性増殖による癌。
- 日光角化症、Bowen病などの表皮内病変や、癬痕性病変から生じることが多い。
- 露光部に好発。硬い結節でしばしば壊死、潰瘍化し悪臭を伴う。
- 病理組織学的には個細胞角化、癌真珠が認められ、角化の少ないものほど未分化で悪性。
- 治療は外科的切除とリンパ節郭清、放射線療法、抗悪性腫瘍薬の投与。

症状

高齢者の露光部(顔面、手背など)に単発する。先行病変の上に、小丘疹～結節が出現し、次第に拡大して腫瘍や難治性潰瘍を形成する(図22.5)。花キャベツ様増殖を認め、これらの病変に角質や痂皮が附着することも多い。表面が潰瘍化したものでは、細菌の二次感染をきたして特有の悪臭を放つ。所属リンパ節に転移しやすく、硬い腫瘍を触れることもある。

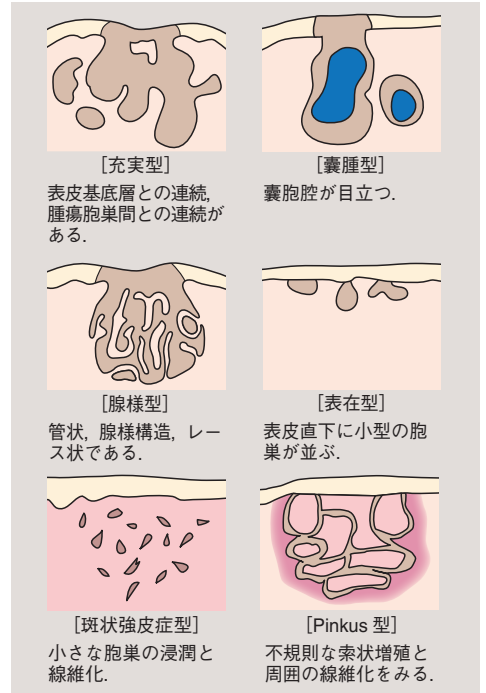


図 22.4 基底細胞癌の病理組織型

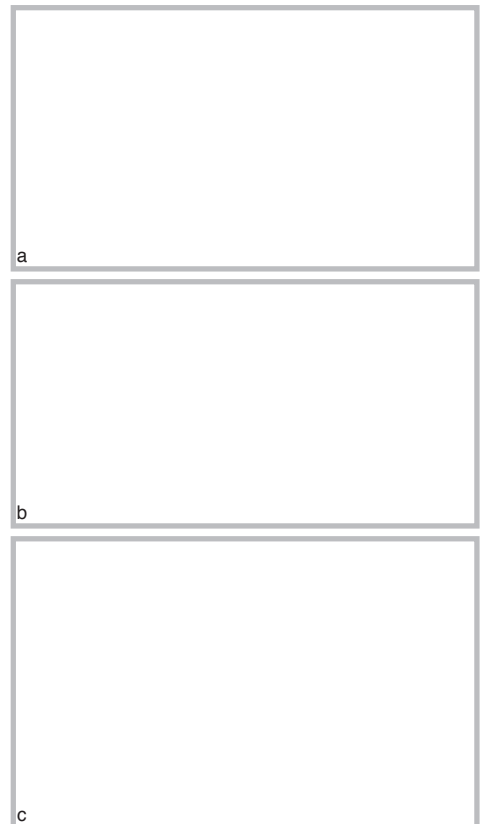


図 22.5① 有棘細胞癌 (squamous cell carcinoma) a, b: 下口唇. c: 体幹.

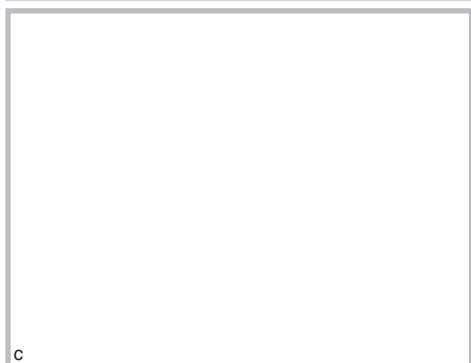
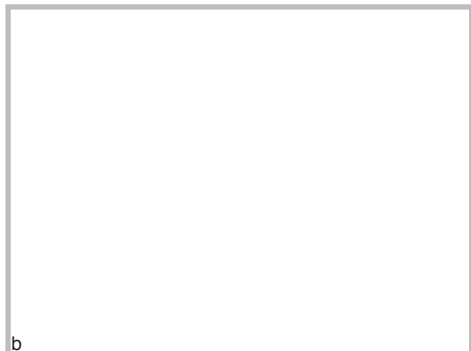
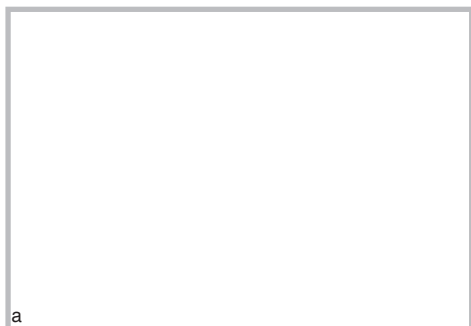


図 22.5② 有棘細胞癌 (squamous cell carcinoma)
 a: 臀部. b: 手背. c: 慢性放射線皮膚炎が母地となり手掌に生じた例. d: 劣性栄養障害型表皮水疱症患者に生じた例.

病因

NOTCH1, TP53, RAS など, 癌抑制遺伝子をはじめとしたさまざまな遺伝子異常が関与している. 慢性瘢痕性病変の上に生じることが多い. 先行病変 (表 22.1) に加えて, 紫外線, 砒素, タール, 放射線などの発癌因子が発症に関与する. また, 悪性黒色腫の治療に用いられる BRAF 阻害薬 (p.486 MEMO 参照) によって本症が誘発されることがある.

病理所見

表皮基底膜を破壊し, 浸潤性に肥厚した表皮の内部に異常角化細胞を認める (図 22.6). 個細胞角化や細胞の配列の乱れ, 核異型, 癌真珠, 細胞分裂像などの特徴を有する. 未分化で悪性度の高いものほど角化傾向が少なくなる.

診断・鑑別診断

確定診断は病理組織学的に行う. 超音波検査や CT などにより, 病変の進達度, リンパ節および遠隔転移を検索し, 病期を決定する (TNM 分類, 表 22.2). ケラトアカントーマ, 日光角化症, 基底細胞癌, 深在性真菌症などとの鑑別を要する.

治療

外科的切除が第一選択. 病期により辺縁から 4 ~ 10 mm の

表 22.1 有棘細胞癌を生じうる先行病変

--

疣状癌 (verrucous carcinoma)

MEMO

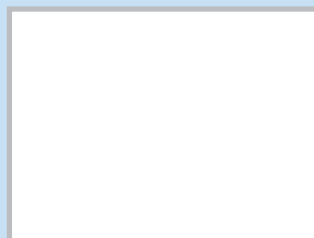
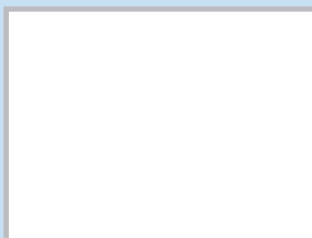


表 22.2 有棘細胞癌（頭頸部・外陰部を除く）の TNM 分類と病期分類 (UICC, 2018)

--

健全部皮膚を含めて切除。リンパ節転移を認めるときには根治的リンパ節郭清を行うこともある。進行例に対しては、放射線療法や化学療法（図 22.7）など集学的治療。

3. 日光角化症 solar keratosis ★

同義語：老人性角化症（senile keratosis），光線角化症（actinic keratosis；AK）

Essence

- 表皮内有棘細胞癌の一型。
- 紫外線刺激によって、とくに基底層を中心に角化細胞が異型性を示し、表皮内で異常な角化細胞が増殖する。
- 高齢者の日光露出部に生じる落屑および痂皮を伴う境界不明瞭な紅斑や角化性病変。自覚症状はない。
- 角化が著しい場合は角状の突出（皮角）を形成する。
- 治療は凍結療法，外科的切除，抗悪性腫瘍薬外用。

oral florid papillomatosis MEMO

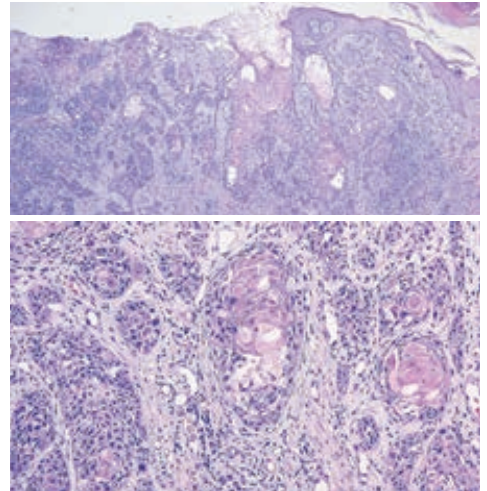


図 22.6 有棘細胞癌の病理組織像



図 22.7 有棘細胞癌の化学治療例
シスプラチン動注により著明な縮小をみた。

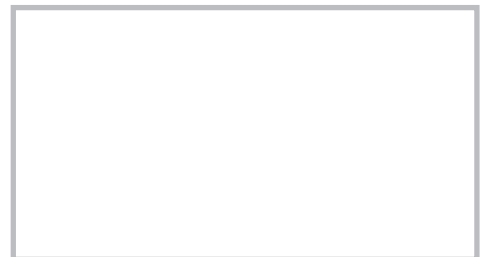


図 22.8① 日光角化症（solar keratosis）
顔面に多発した例。